



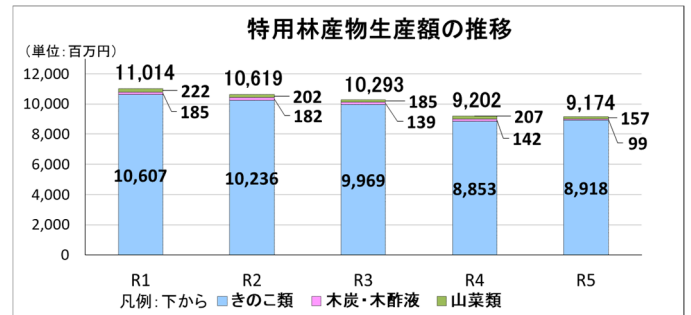
行政の窓

令和5年 特用林産統計について



【特用林産物総生産額】

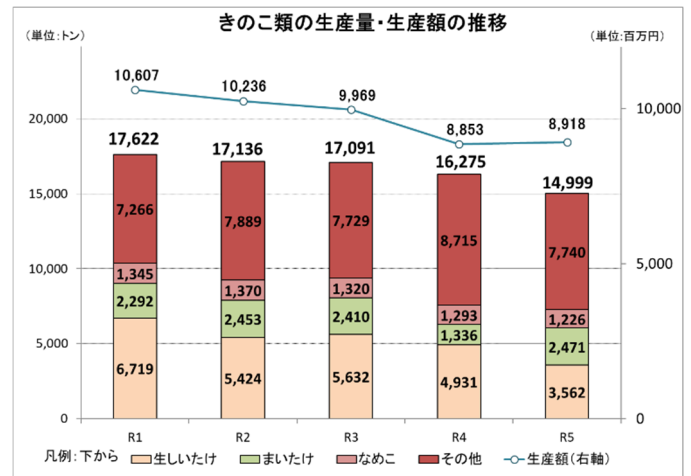
令和5年における道内の特用林産物の総生産額※1は、約92億円（前年比100%）と前年並となりました。総生産額のうち、「きのこ類」がもっとも多く、約97%を占めております。



【きのこ類の生産動向】

令和5年のきのこ類の生産量※2は14,999トン（前年比92%）、生産額は約89億円（前年比100%）でした。生産量の減少について、道内で最も生産量が多い「生しいたけ」（原木及び菌床）が、3,562トン（前年比72%）と前年を大きく下回ったことが影響しています。

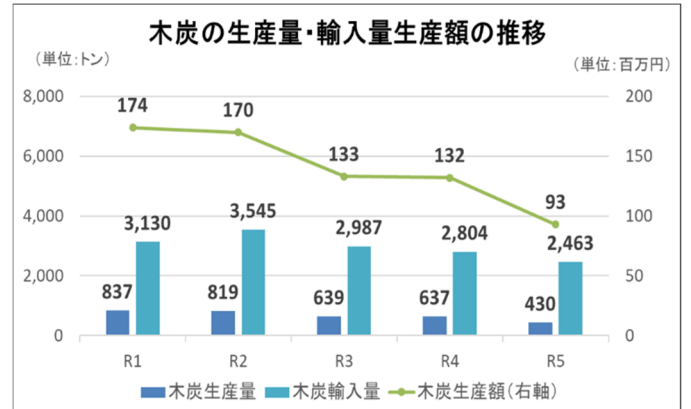
次いで生産量の多い品目は、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」ですが、秘匿措置※3としており、「その他」に含まれます。これら3品目で全道きのこ生産量の約67%を占めています。



【木炭（黒炭）の生産動向】

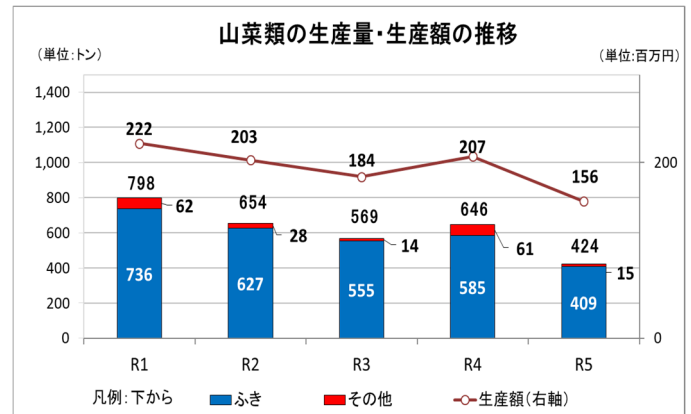
令和5年の生産量は430トン（前年比67%）、生産額は約93百万円（前年比70%）と、ともに前年を大きく下回りました。

なお、輸入木炭についても、2,463トン（前年比88%）と、直近5年で最も少ない輸入量となりました。



【山菜類の生産動向】

令和5年は生産量が424トン（前年比66%）、生産額は約156百万円（前年比76%）と、いずれも前年を下回りました。



※1 生産額は推計額です。（以下全て同じ）
 ※2 生産量は速報値です。（以下全て同じ）
 ※3 統計調査の公表にあたって、調査対象者数が2以下の場合、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘匿保護の観点から秘匿措置を施しています。

（水産林務部林務局林業木材課木材産業係）